

横浜市内幼稚園・保育園における 食物アレルギーの実態

出典　　日本小児アレルギー学会誌 (0914-2649) 21巻1号 Page51-55(2007.03)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2007205149>)

著者　　伊藤玲子 他

調査地域　神奈川県

調査時期　2002年、2005年

調査対象　幼稚園 (3~6歳)
保育園 (0~5歳)

依頼数　幼稚園：298園、　保育園：582園

有効回答数　幼稚園：173園 (35779人)　保育園：295園 (20168人)

有効回答率　幼稚園：58%　保育園：51%

診断方法　教員の申告

有症率　幼稚園：2.4%　保育園：3.9%

調査概要　横浜市内全幼稚園・保育園の食物アレルギーの実態を調査した論文。
保育園は低年齢児が多いため食物アレルギーの有症率が高かった。
保育園では半数以上が医師の診断に基づき食物除去が行われていたが、
幼稚園は3%と低値であった。